

鎮静の常識を超えて——肌と心を同時にケアするSEPIBLISS™ FEEL

WEBサイトはこちら



アリスタヘルスアンドニュートリションサイエンス株式会社

ヘルスケアグループ 営業 太田 薫氏

1. 原料の開発ストーリー

SEPIBLISS™ FEELは、フランス南西部で栽培されるコリアンダー種子から生まれたスキンケア原料です。希少な脂肪酸であるペトロセリン酸を豊富に含むこの種子油は、伝統的に抗酸化・抗炎症作用で知られており、現代の肌悩みに応える可能性を秘めていました。開発チームは、近年注目される「ストレスが肌に及ぼす悪影響」に着目し、肌の神経・免疫・内分泌が強く連動するという事実をもとに研究を進めました。

精神的ストレスは、肌細胞に炎症やバリア機能低下を引き起こすコルチゾールを増加させます。この影響を緩和するヒントとして、鍼治療の“幸福分子”を高める効果に注目しました。そこで開発した独自の「鍼治療ライクモデル」によって、SEPIBLISS™ FEELがストレスによる一酸化窒素 (NO) 過剰生成を鍼治療と同等に抑制することを確認しました。さらに、コルチゾールで低下するオキシトシンやβ-エンドルフィンといった幸福分子の分泌を守り、神経突起の萎縮も改善することが明らかになりました。

こうした研究の積み重ねにより、SEPIBLISS™ FEELは“肌と心の両方に寄り添う”という新しい価値を備えた原料として誕生しました。ストレスによる敏感さ、炎症、心地よさの低下に包括的にアプローチする、現代のための「ストレス由来の不快感を鎮め、ほっとする肌へ導く成分」として開発されました。



■図1 コリアンダー種子

2. 原料の特長・特性及びエビデンス解説

主な特長・特性として、1. 幸福分子保護・神経終末ダメージ回復効果と2. 肌鎮静データがあります。

1. 幸福分子保護・神経終末ダメージ回復効果

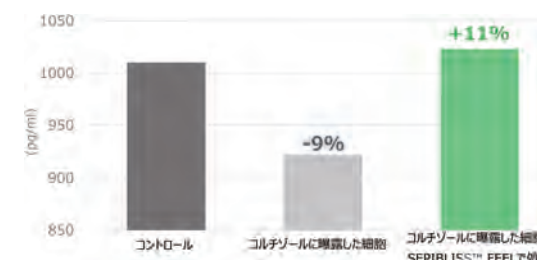
SEPIBLISS™ FEELの抗ストレス作用は、まずCRHによるストレス刺激で過剰に放出されるNOを抑制する働きによって確認されました。CRHを添加したケラチノサイトではNOが増加しましたが、SEPIBLISS™ FEELは鍼灸と同等に約55%抑制し、ストレス応答を緩和しました。

次に、ストレスで低下する“幸福分子”の保護効果が検証されました。コルチゾール処理により、オキシトシン分泌は約9%低下しましたが、SEPIBLISS™ FEELはこれを大きく回復させ、むしろコントロールを上回る11%の増加を示しました。また、同条件で低下するμオピオイド受容体の発現を向上させることが確認され、幸福感・心地よさにかかわる神経系シグナルを保護する作用が明らかとなりました。

さらに、ストレスにより減少するβ-エンドルフィンの産生についても、コルチゾールで低下した分泌量が、SEPIBLISS™ FEELにより同等以上に回復しました。これにより、肌細胞における幸福関連因子を維持する力が示されました。

加えて、ストレスが引き起こす神経終末のダメージにも着目しました。コルチゾールは神経突起の長さを短縮させましたが、SEPIBLISS™ FEELはこれを回復させ、神経構造を強く保護することがわかりました。これは敏感肌における「ヒリつき」「過剰反応」の改善につながる重要な作用になります。

これら一連の結果から、SEPIBLISS™ FEELはストレスによる肌ダメージを抑え、幸福分子の低下を防ぎ、神経の健全性を保つことで、肌の心地よさを総合的に支える成分であることが示されました。



■図2 オキシトシン分泌量



■図3 肌の鎮静効果

2. 肌鎮静データ

ストレス刺激によって分泌されるCRHは、ケラチノサイトにおいてNF-κB経路を活性化し、炎症性サイトカインの産生を促進することで、赤みや浮腫などの肌トラブルを引き起こします。そこでSEPIBLISS™ FEELの鎮静効果を検証するため、炎症誘発モデルを用いた*in vitro*試験が行われました。

まず、TNF-αにより強く活性化されたNF-κBに対し、SEPIBLISS™ FEELを添加すると、活性化が抑制され、ポジティブコントロールと同等の調整作用を示しました。これは、炎症反応の上流段階に働きかける可能性を示しています。

さらに、TNF-αによって増加した炎症性サイトカインの産生に対しても、SEPIBLISS™ FEELは明確な抑制効果を示しました。IL-1αは40%、IL-8は56%低減され、炎症状態にあるケラチノサイトを有意に保護しました。こ

れらの効果は、鎮静成分として知られるカフェー酸と比較しても十分なレベルでした。

これらの結果から、SEPIBLISS™ FEELはNF-κB活性化を調整し、炎症性サイトカインの過剰産生を抑えることで、ストレスや外的刺激による炎症反応をやさしく鎮める成分であることが示されました。

3. 今後の原料開発の展望

弊社では、長年にわたり蓄積してきた豊富なデータを基に、独自性と特徴を備えた多様な成分を取り扱っています。これらの知見を生かし、お客様のニーズや市場動向に即した最適なご提案を行ってまいりました。今後も、取り扱い成分のラインナップ拡充と提案内容のさらなる深化を図り、“一味違う”付加価値の高いご提案をお届けできるよう、継続的な取り組みを進めていく所存です。

SEPIBLISS™ FEEL		Ingredient List
化粧品表示名称	コリアンダー種子油	
INCI	Coriandrum Sativum (Coriander) Seed Oil	
中文名称	芫荽 (CORIANDRUMSATIVUM) 籽油	
医薬部外品原料規格名称	—	
お問合せ先	アリスタヘルスアンドニュートリションサイエンス株式会社 / TEL: 03-5203-9410 Mail: cosme@upl-ltd.com	